

国連機関の役割紹介

三島中 IOM 駐日代表が講演会

移住など人の移動に関し、専門的に調査支援する国連機関の国際移住機関（IOM）駐日事務所の望月大平代表は21日、三島町の三島中で全校生21人を前に講演し、IOMの役割などにつ

いて語った。町教委の主催。望月さんはウクライナ危機を例に挙げ「自分は移動したくないのに、移動しなければならぬ人たちを支援していく必要がある」とIOMの役割を説明し、国



IOMの役割などについて語る望月さん

連機関で働くことについて「宗教や言語が違う人たちと仕事をやる。文化や習慣にも配慮しないといけないが、慣れてくると面白い」と話した。

国際社会での活躍を思い描く生徒らに「興味を持ってたことを掘り下げる努力をしてほしい。みんないろいろな違いがあるが、何で違うのかを、その人に興味を持って理解を深めてほしい」とエールを送った。

町教委は平和学習として沖縄や長崎への修学旅行での研修を支援し、生徒はその研修成果を文化祭で発表している。今回はロシアによるウクライナ侵攻が続く中、平和についての学びを深めてもらおうと、公設国際貢献献大学の支援を受けて望月さんを招いた。

本名慶次さん（3年）は「IOMの人たちが100カ国以上訪れているのを聞いて、いろんな国を回れるから楽しそうな仕事だと思った」と感想を述べた。